

## 令和4年11月24日開催教育委員会会議記録

### 1 開会・閉会等について

開催日	令和4年11月24日(木)
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後4時00分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	淺 松 三 平
委 員	岸 田 玲 子
委 員	岡 田 卓 巳
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	宮 本 知 幸
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	須 藤 浩 司
学 務 課 長	西 村 克 己
指 導 室 長	加 藤 康 弘
すみだ教育研究所長	宮 本 佳 代 子
地域教育支援課長	堀 啓 一
ひきふね図書館長	有 澤 恵 美 子

### 2 議題について

#### (1) 議決事項

議案第50号 教育委員会関係議案の作成に伴う意見聴取について

議案第51号 行政財産使用許可(旧隅田小学校防火水槽設置)について

議案第52号 第27回MOA美術館墨田児童作品展教育委員会賞及び教育長賞受賞者への表彰状の贈呈について

#### (2) 報告事項

第1 教育課題の進捗状況について

第2 令和5年度区立幼稚園入園の申込結果について

第3 令和5年度区立小・中学校希望選択の申込結果について

第4 第12回墨田区図書館を使った調べる学習コンクールの結果について

### 3 会議の概要について

教育長 それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、岸田委員にお願いします。本日の日程ですが、議案第50号及び第52号については、行政運営上の審議情報に関わる案件であることから、秘密会として審議したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、議案第50号及び第52号については、秘密会として執り行うことといたします。なお、会議の進行については、報告事項が終了した後、秘密会に入ることといたします。

#### 議決事項第2・・・資料番号【51-1～51-8】

議案第51号「行政財産使用許可(旧墨田小学校防火水槽設置)について」を上程し、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑・ご意見はございますか。

岸田委員 使用期間の令和4年12月12日から令和6年12月11日が終了した後はどうなりますか。

庶務課長 継続して使用したいという先方の意向があった場合、区としても支障がなければ、使用期間を更新できます。将来的に、鐘ヶ淵地区のまちづくりにこの土地を供するかどうかという話は未定なので、現時点においては更新可能です。

岸田委員 一部が東武鉄道の土地だという話も聞いたことがあります。ここは違うのですか。

庶務課長 ここは借地ではありません。

岸田委員 分かりました。プールの下に、中央町会の防災の用具があったと思うのですが、壊したときに、どこに移したのか分かりますか。

庶務課長 調整して、別の場所に移していると伺っています。

岡田委員 緊急時に鍵を開けるときは、誰がどのような流れで開けるのですか。

庶務課長 鍵は管理人室に保管し、管理人が開ける予定です。

次長 先日、町会と協議をし、町会にも鍵をお預けして、緊急の場合は町会が対応するという話になりましたので、今後はそのような形で対応していきたいと思っています。

岡田委員 緊急時には消防機関だけでなく、地元の町会の方がこの防火水槽の水を使用することも可能な体制になっているのですね。

次長 そうです。

教育長 それでは、議案第51号は、原案どおり許可することにしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、原案どおり許可することにします。

#### 報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-3】

「教育課題の進捗状況について」、指導室長、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

指導室長(「学習指導要領への対応(GIGAスクール構想における授業改善の推進)」について説明)

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

阿部委員 検証授業というのは、タブレット端末について、何か特別なことを実施したのです

か。

指導室長 学校公開の時のように、保護者や地域の方に、タブレット端末を活用した授業を見ていただきました。

すみだ教育研究所長 （「すみだ教育指針」の改定及び「学力向上新3か年計画（第3次）」の策定」及び「学力向上新3か年計画（第2次）」の推進」について説明）

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

（質疑なし）

すみだ教育研究所長 （「学力向上新3か年計画（第2次）」の推進」について説明）

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

浅松委員 区の調査結果が出た後に、すみだ教育研究所と各学校でヒアリングを実施したと思いますが、調査結果を受けて、各教科の先生はどの程度児童・生徒の理解度を把握しているのでしょうか。また、授業の中で振り返りを実施している学校については、把握していますか。

すみだ教育研究所長 どの学校も、調査の結果から、どこに課題があり、どこを重点的に指導すればいいかということは把握しています。その上で、先生方一人ひとりが学力向上プランを作成しています。今回の調査結果を受けて、次の学力向上プランを作成しており、私たちはそれらを全部確認しています。校長ヒアリングの中で、校長先生が作った全体計画と先生方一人ひとりが作成している学力向上プランとを、校長先生と一緒に確認しました。校長先生は全体計画の中でこういう目標を設定しているけれど、個々の先生方はその部分を少し低めの目標にしているとか、校長と個々の先生方で違った目標にしている場合もあるので、その確認や話し合いをした上で、学校としての学力向上プランを策定し、ホームページに掲載しています。調査結果は次の学習指導に生かされていると認識しています。

浅松委員 私が思うのは、中学3年生の4月というのは、ほぼ中学2年生ですので、調査の結果を受けて、中学2年生までの学習内容で欠落している部分を補充するために、授業時間で難しければ放課後に補習するとか、その生徒の実態に合わせて補っていくということ、教科の専門の先生にやっていただきたいということです。

すみだ教育研究所長 中学3年生においても、調査の結果、どこが足りなかったのか、どこに課題があったのかを、先生方がきちんと分析し、卒業までどのように授業の中で伝えて、指導していくのかという計画を立てています。具体的には、振り返り期間の中で活用したり、学校によっては補習教室を放課後に実施している学校もあります。

教育長 学校では入試問題を使い、中学1、2年生の学習範囲から出題される部分の補充はしています。

浅松委員 補充も、プリントをやらせる程度では足りないと思います。グループに分けて、この部分が足りない子どもたちにはこういう教材で問題をやらせる、ということ、教科の先生が考えてほしいです。

教育長 中学生になると発達段階に差があるので、やる気がある子はやるのですが、やる気がない子についてのフォローというのがなかなか難しいです。徐々に全体の学力が上がってきているので、学力が二極分化してきて、二極分化の下の方の生徒が少ない学校は、その辺りのフォローができると思いますが、先生たちは、中間の子の学力を上げることを考えていますので、その点においては、学校によって違いがあると思います。各学校では、自分たちで問題を作っ

たり、都立高校の入試問題を解いたり、いろいろな取組をしています。

## 報告事項第2・・・資料番号【資料2-1】

「令和5年度区立幼稚園入園の申込結果について」、学務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

岡田委員 区立幼稚園の応募がこれだけ少ない現状については、どのような分析をしていますか。

学務課長 時代によって波があるのですが、令和3年度までは6割程度の定員充足率を満たしていましたが、この2年間で減少しています。私立幼稚園も、定員に少し欠ける状況です。一方で、保育園、認定こども園は一定数満たしていますので、共働きの家庭が増えて、保育園が選択される状況にある、これが一番大きい理由ではないかと思えます。

教育長 幼稚園を選択しても、他区の幼稚園に通う場合もあります。

学務課長 他区の幼稚園、他区の私立幼稚園に通っているお子さんは、調べた限りでは500人くらいで、葛飾区に通うお子さんが多いと認識しています。

岡田委員 私立の幼稚園では、午前の11時半頃に終わった後、午後も居残れるようなところがありますが、区立の幼稚園で、そのようなサービスを提供することは難しいですか。

学務課長 区立幼稚園で預かり保育を実施するには、それなりの設備、教員が必要になると思います。私立幼稚園と区立幼稚園との補完関係で存立しているという言い方をよくするのですが、昭和40年代には子どもの数が増え、幼稚園に入園できないお子さんが出てきた昭和44年から、区立幼稚園が設置されました。多いときには、私立幼稚園が15園程あったと思うのですが、それでも入園できない数を補うために、区立幼稚園が設置されました。それ以来、区立幼稚園と私立幼稚園は、数的な補完関係にありますので、私立幼稚園側の経営に一定の配慮をしながら、区立幼稚園を運営してきたという経緯があります。

教育長 去年の例でいうと、私立幼稚園も充足されていないのですよね。

学務課長 そうです、私立幼稚園の充足率は83%です。

学務課長 また、私立幼稚園は3歳児から入園できますので、3歳から入園した子はそのまま4歳、5歳、と学年が上がっていきます。このため、共働きで、早くから子どもを預けたい家庭は、最初から私立幼稚園に入園してしまうのかもしれませんが。

教育長 区立幼稚園は4歳児からですが、区立も3歳児も受け入れることになると、教室を増やさなければなりません。3歳児の受け入れができる園は立花幼稚園だけで、他の園は園舎の構造上受け入れできない状況です。

岡田委員 失礼な言い方かもしれませんが、区立幼稚園は役割を終えつつあるような感じでしょうか。

教育長 例えば区立幼稚園が預かり保育を実施した場合、私立幼稚園の経営をかなり圧迫する可能性がある、ということもあります。また、延長保育を実施している私立幼稚園に園児が集まっていない状況で、区立幼稚園の預かり保育に園児が集まるのは、難しいのではないかと推測されます。私立幼稚園が無償化されたことも関係がありますか。

学務課長 はい。令和元年10月から、私立幼稚園の保育料は楽器のレッスン料などを除き、基本的には無償化されましたので、様々なオプションを付加できる教育を選ぶ方も一定数いると

思います。一方で、3歳から私立幼稚園に入園したけれど、雰囲気合わなかったなどの理由で、4歳から区立幼稚園に入りたいという方もいますので、区立幼稚園が全く無くなってしまってもいいとは思っていません。

岸田委員 先日、八広幼稚園の研究発表会に行ってきました。本当に素晴らしい研究発表で、子ども達も生き生きとして自発的で、これこそ生きる力の基本を教えているのではないかと思います、大変感動しました。「これだけの学習をやっているところなのだ」というPRが少し足りていないと思いました。あの授業を見て、素晴らしい実践内容だということが伝わってきましたので、PRの仕方を改善したほうがいいと思いました。もし問題があるとするならば、お弁当を持参する必要があることかな、という気はしました。朝、お弁当を作って、それから子どもを幼稚園に送るといのは大変なので、給食が自園でできると、もう少し問題が改善できるのではないかなと思いました。

学務課長 給食については、調理して提供するとなると、これも施設上の問題があります。セントラルキッチンという、委託業者が作ったものを運んでくる給食は、冷めているとか、なかなかおいしい状態ではないとか、様々な評判があるようです。

岸田委員 この申込人数を見て、本当にもったいないと思いました。

岡田委員 支援が必要なお子さんが区立幼稚園に多くいらっしゃると、幼稚園の先生方は、特別支援学校の先生のように、支援のための特別なトレーニングを受けたり、研修を受ける機会はあるのですか。

指導室長 特別支援教育に関する研修は小・中学校と同じ機会に、幼稚園からも参加しています。採用時には、区の研修だけではなく、特別区人事・厚生事務組合という、特別区の幼稚園教員が研修を受ける場所でも、特別支援教育に関する内容は扱います。東京都教職員研修センターでも幼稚園教員に対する研修を行っていますので、学ぶ機会はいろいろとあります。

学務課長 特別な支援を要するお子さんについては、2人の介助員をつけてサポートするような形で生活支援をしています。

教育長 大切なのは、ベテランの教員であっても、知識としては持っていたとしても、実践に生かすためには、繰り返し繰り返し研修する必要があるということです。

岡田委員 区立幼稚園の状況は、民間事業者で考えた場合、採算が取れない状況なので、場合によっては幼稚園を統廃合して、送迎のバスを運行することで集約するなどの対策をしないと、このままでは維持できなくなってしまうと思います。そのような抜本的な対策について、区議会などで問題提起されていませんか。

学務課長 区議会からは、ご意見、ご質問をいただくことはあります。基本的な考え方としては、定員充足率が6割を切ることが複数年続いた場合、適正配置を考える、という運用をしています。ひきふね幼稚園も、この運用に基づいての閉園措置です。ただ、これは平成13年頃に打ち出した方針なので、この考え方のままでいいのか、そして区立幼稚園にこの考え方を当てはめた結果、無くなってしまってもいいのかということ、そうではありません。また、私立幼稚園には経営の問題もあり、存続し続けられるという保証もありませんので、それらの問題も含めて総合的に考えていかなければいけないと思っています。

教育長 今のところ、どんどん閉園していくということではなく、障害のある子やどうしても私立幼稚園が合わなくて途中から区立に入園してくる子もいるので、そういう子ども達の教育

を保障する必要もあり、一定程度の区立幼稚園の配置は必要だと考えています。

浅松委員 送迎バスを運行するのは難しいのですか。

学務課長 他区では実施しているところもあるようですので、難しいということではないと思います。

教育長 送迎バスは、道路が狭いと停車できないので、どうしても幹線道路を使う必要があります。また、全員を順番に乗せていくと時間がかかるという問題もあります。

浅松委員 悩ましい問題ですね。

教育長 大変悩ましいです。毎年、今頃の時期から4月の入園までの間に何人程度、追加の入園申込者がいるのですか。

学務課長 毎年、11月から3月までの間に、3～5人は転居や私立幼稚園からの転入などで、追加申込みがあります。

教育長 それだけでは定員は埋まらないので、区議会でも問題になる可能性があります。区立幼稚園の魅力は、非認知能力の育成と言われていますが、八広幼稚園では、千葉大学と協力して、認知能力の育成にも力を入れています。非認知能力だけではなく、認知能力の育成も区立幼稚園の特長として取り組んでいく必要があると考えています。

学務課長 中央区では、区立小学校の校舎を建て替える際に、併設された区立幼稚園を一旦廃園し、その園を学校法人渋谷教育学園が運営する認定こども園として開園したという事例があります。昨年度、入園者を募集したところ、2桁を超えるような倍率だったということです。非常に著名な学園が経営するというので、期待もあったのだと思います。

教育長 渋谷教育学園幕張中学校の附属ではないのですよね。

学務課長 附属ではありません。

教育長 その学校法人が運営するというだけで高い倍率になってしまうのです。幼稚園での認知能力の育成に対する期待があったということですから、非認知能力の育成だけではなく、認知能力の育成にもきちんと取り組んで、小学校での学習につなげていけるような形にする必要があります。

浅松委員 そのような特色ある教育を、委託することはできますか。

学務課長 制度上委託することはできます。ただ、それを取り入れるかどうかという意味では、今はまだ区独自で、教員の研修や研究をしている段階です。

教育長 公設民営のような形は可能です。ただし、幼稚園教育要領に基づく教育活動をしっかりやっていくことも必要です。私立幼稚園は、建学の精神があるので、特色は出しやすいと思います。公立は、特色が少し弱いということもありますが、その中で幼稚園教育要領に則りながらPRしていくことが必要だと思います。

### 報告事項3・・・資料番号【資料3-1】

「令和5年度区立小・中学校希望選択の申込結果について」、学務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

(質疑なし)

教育長 区立小学校から、区立中学校以外に進学する子ども達は、どの程度いるのですか。

学務課長 国立、都立及び私立中学校に進学する割合は、20%程度です。

**報告事項第4・・・資料番号【資料4-1～4-2】**

「第12回墨田区図書館を使った調べる学習コンクールの結果について」、指導室長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告について、何かご質疑はございますか。

(質疑なし)

教育長 それでは、会議冒頭で説明しましたとおり、議案第50号及び第52号については、秘密会として審議します。その前に、委員の皆さん又は事務局から何かございますか。

(質疑なし)

教育長 それでは、ここから秘密会に入ることといたしますので、傍聴人の方は、係員の指示に従ってご退出ください。

秘密会/教育委員会会議規則第26条第2項の規定により、別に会議録あり

教育長 以上で、本日の議事は全て終了しましたので、これで教育委員会を閉会します。